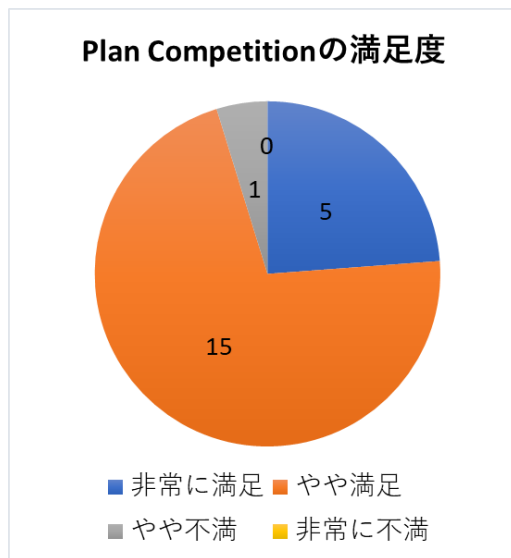


Q : Plan Competition 4th の満足度

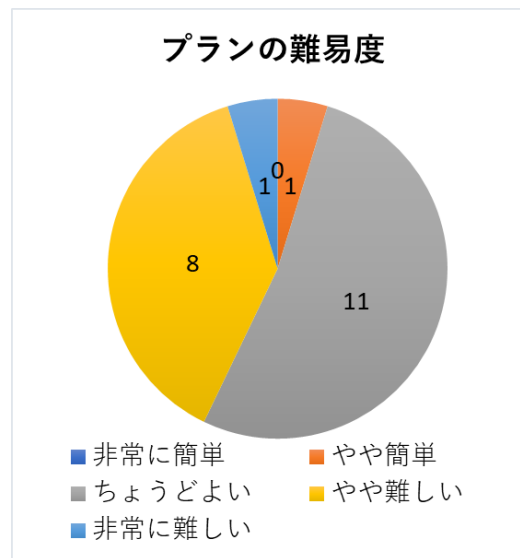


“非常に満足”+“やや満足”
で95%

<コメント(抜粋)>

- 難易度もそこそこあり、DCATは初めて使用して勉強になった。
- 実臨床にあった症例で、挑戦したい気持ちになりました。計画のコツを理解できれば、臨床に還元できると考えました。
- 当院は現状、線量制約が少ないので、今回の細かな線量制約による治療計画は非常に勉強になった。自身のプランニングのスキルアップにも繋がったと思う。
- これまでに比べてリスク臓器の制約が比較的簡単だった。

Q : プランの難易度

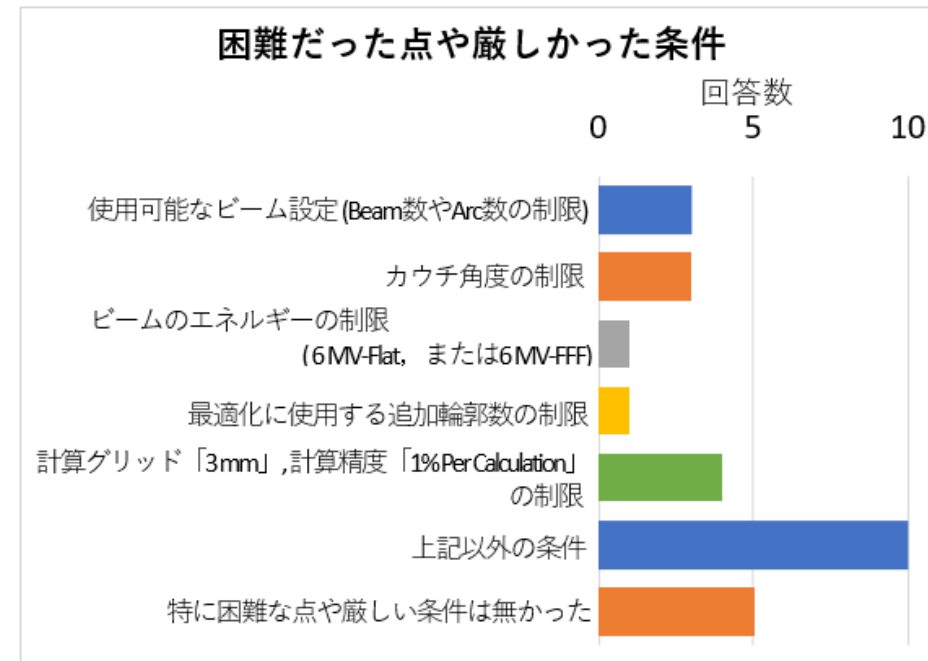


“ちょうどよい”+“やや難しい”
で90%

<コメント(抜粋)>

- 満点を取ることは難しいですが、120点を取るのは簡単でした
- リスク臓器の制約は簡単でMUの得点が難しかった。
- 当院で実施している計画方法で、あえて挑戦しました。DCATやVMATで高得点をとるよりも固定多門IMRTで挑戦し、計画方法を今後に生かしたい。

Q : プラン作成条件について



<「上記以外の条件」の内訳>

- MU値の制限 8件
- プロトコル全体を満たすこと 1件
- CTtoEDファイル 1件